

科目番号	52014	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年	1 配当セスター 通年		
科目名	新生児期診断・技術学 (Newborn Care)								
担当者	○小嶋奈都子 他3名		区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
【概要】 新生児の生理的特徴、胎外生活への適応、成長・発達のヘルスアセスメント及びケアに必要な知識・技術・態度を学習する。また、乳幼児期の発育・発達と保健相談について学習する。						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
【目標】 1. 新生児の生理的特徴を説明できる。 2. 新生児の胎外生活への適応について説明できる。 3. 新生児のフィジカルアセスメントの方法を説明できる。 4. 新生児の出生直後から1か月健診までに必要なケア方法を説明できる。 5. 乳幼児の発育と生理・運動・精神的機能の発達について説明できる。 6. 乳幼児の発育発達に関連した保健相談について説明できる。						○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
						○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							6.研究・開発能力		
						○	7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	新生児学総論							小嶋 他3名	
第2回	新生児の体温、栄養								
第3回	新生児の水と電解質、黄疸								
第4回	新生児の血液、感染症と免疫								
第5回	新生児の呼吸、循環								
第6回	乳幼児の発育 生理機能の発達								
第7回	乳幼児の運動機能の発達								
第8回	乳幼児の精神機能の発達								
第9回	出生直後の新生児の観察とケア								
第10回	早期新生児期の新生児の経日変化とケア								
第11回	新生児の異常とケア								
第12回	新生児のケア・ディベロップメンタルケア								
第13回・第14回	NICU, ハイリスク新生児の看護								
第15回	乳幼児の事故 母子保健の課題と保健相談								
事前・事後学習	事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	筆記試験（80％） レポート・プレゼンテーション評価（20％）								
参考図書	◎新生児学入門 第5版 仁志田博 医学書院 ◎助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児期・乳幼児期 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト第4版 細野茂春 メジカルビュー社 ・目で見える妊娠と出産 馬場一憲 文光堂 2013 ・助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア 2023 日本看護協会出版 ・助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 2023 日本看護協会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。								